

桐の椅子

多摩美術大学生産デザイン学科
プロダクトデザイン専攻3年

中田 裕明

福島県三島町・会津桐タンス株式会社・多摩美術大学 産学官共同研究

「桐の魅力を引き出すプロダクト」展

Collaboration Project in 2006-2007

Mishima×Tama Art University

2008年3月7日(金)ー3月9日(日) | 会場:LAPINETHALOT/会場時間:12:30~18:30 (最終日は16:30まで) /交通:表参道駅より徒歩5分
主催:多摩美術大学美術学部生産デザイン学科プロダクトデザイン研究室

●プロジェクトメンバー

三島町役場:齋藤茂樹 五十嵐政人 / 会津桐タンス株式会社:長谷川賢之 角田庄伸 稲勇 / 担当教職員:岩倉信弥 安次富隆 山本秀夫 寺内隆 木内俊雄

参加学生:阿部咲乃 李正恩 和泉集 今井雄仁 浦本彩子 大澤亮太 高周鴻 小井沼桃 小西文絵 佐藤和 趙流真 杉浦知志 高木史郎 田川貴之 田中洋光 富安真央 中田裕明 兵野涼子 渡辺あずさ 佐藤麻伊子 青羽拓哉 阿部洋太 伊藤麻美 岩崎若菜 オソッ 大木俊彦 大島信貴 岡村健太郎 笠尾百合衣 片岡弘明 神長遼平 小見山直巳 酒井嵩人 佐古祥太郎 佐々木健五 柴谷将史 鈴木睦子 住本佑介 傅田良 戸塚新平 長妻正人 西山潤 橋井宗一朗 橋本竜 早河浩平 原由光
パンギョントク 平林修啓 廣野耕之助 ホンヘナ 丸井智史 村岡明 森通平 渡辺千紘 尾形達 田中賢 出口まり

「桐の魅力を引き出すプロダクト」展



Collaboration Project in 2006-2007
Mishima × Tama Art University

● プロジェクト概要

福島県三島町と多摩美術大学は、2006年より「桐の魅力を引き出すプロダクト」をテーマに、産学官共同研究を行ってまいりました。桐はパルサに続いて世界でも2番目に軽い木材だけでなく、調湿性や断熱性が高く、強度もあり、加工もしやすいなどの特徴があり、昔から筆筒などの家具に使われてきました。「日本一の桐の産地作り」に取り組んでいる三島町の桐は、一般的な桐と比べて桐材の密度が高く、彫刻を施すことも可能なため、能面などの材料にも使用されています。このすぐれた三島町の桐の魅力をさらに引き出し、私たちの生活をより楽しく豊かにするプロダクトをデザインすることが、当産学官共同研究の目的です。

2006年には、本学の生産デザイン学科プロダクトデザイン専攻の2年次、20名が研究に取組み、5種類の提案が三島町で試作されました。昨年、2007年には2年次34名に加え、4年次3名も研究に参加し、7種類の提案が試作されました。試作に至るまでは、学生たちは提案するアイデアの模型を自ら制作することによって材料やプロダクトへの理解を深めました。また、試作された提案の中にも、プロの職人さんたちと学生の作業分担で制作されたものもあります。2年間の取組みの中で、三島町の方々と学生たちや教員の間には、協力し合ってモノづくりするために必要な信頼関係が芽生えてまいりました。

商品化に至るまでには、まだ細部の検討が必要ですが、2年間の成果を発表し皆様のご意見やご指導を伺うことによって、私たちの生活をより楽しく豊かにするモノづくりに取り組んで参りたいと思っておりますので、ご高覧のほどよろしくお願い致します。

福島県三島町長 齊藤茂樹

多摩美術大学 生産デザイン学科 プロダクトデザイン専攻 学科長 岩倉信弥



● プロセス

2006

2007

9月5日・6日～



三島町訪問・課題開始



課題チェック・制作

10月23日



議評会



試作品決定

11月～



図面チェック

2月



試作品完成

● 展示会場・詳細

LAPIN ET HALOT 150-0001 東京都渋谷区神宮前5-44-2

日時：2008年3月7日(金)～3月9日(日) 12:30～18:30(最終日は16:30まで)

電話：03-5469-2570

ホームページ：<http://www.lapin-et.com>

交通：東京メトロ銀座線・千代田線・半蔵門線表参道駅A1、B2出口より徒歩5分

● お問い合わせ

多摩美術大学美術学部生産デザイン学科プロダクトデザイン研究室

192-0394 東京都八王子市鷺水2-1723

電話：042-679-5624

メールアドレス：product@tamabi.ac.jp

ホームページ：<http://www.tamabi.ac.jp/product/>

